

装飾に筑波山間伐材

スペースが手がけた、

パネルで掲示した。

つくばエクスプレス（TX）八潮駅（埼玉県八潮市）高架下の商業施設「TXアベニュー八潮Ⅱ写真」が11日にリニューアルオープンした。同社が企画・設計・施工を担い、筑波山で伐採した杉の間伐材を中央通路の天井や入り口の装飾に使って自然と環境に配慮したデザインにした。また木材活用による環境負荷低減効果を数値で可視化した「ウッドマイルズ関連指標」を施設通路に木製



延べ床面積約2144平方メートル。従来はサービス店舗が中心だったが飲食店

埼玉・八潮駅の商業施設刷新

スペースが企画—施工

を増やした。全14店舗中12店が新規で2店が改装。川に囲まれた八潮市をイメージした内装装飾にした。スペースはTXの流山おおたかの森駅（千葉県流山市）と守谷駅（茨城県守谷市）の商業施設も手がけた。

同社とTXを運営する首都圏新都市鉄道などの関係者は8月、筑波山で森林保護について学ぶ体験プログラムを実施。現地の森林組合から間伐材活用と森林保護の重要性について説明を受け、その際に伐採した木材を通路のベンチに活用した。

（さいたま）